

概要報告書

事業種別	広域安全事業
団体名	九州・沖縄犯罪被害者連絡会（みどりの風）
事業名	九州・沖縄犯罪被害者連絡会 宿泊交流会事業
<p>九州・沖縄犯罪被害者連絡会では自助グループやマスコミに呼び掛け、9月28日に福岡サンパレスにおいて、支援者、行政等含め48名の参加者を得て第2回宿泊交流会を行った。みどりの風では殺人・傷害などの身体犯罪部・交通事犯部に加え2013年度からは性犯罪部を設けているが、今交流会では娘さんが性犯罪に遭われた家族より講演があり、二次三次被害を含めその深刻さが訴えられた。</p> <p>また、拉致・殺人で娘さんを奪われた遺族からは、10数年経っても癒えない心の傷や、被害者が集まる会の大切さが語られた。未解決事件の5遺族から情報提供の呼び掛けがあり、解決に向け努力を続ける困難さが話された。</p> <p>各々の自己紹介の後、栗脇康秀弁護士から「犯罪被害者支援の現場で見てきたこと」と題し、司法の変化や被害者参加弁護士の制度について説明があった。個別相談では法的相談が多くあり、事件後のフォローの不十分さが浮彫りとなった。宿泊も28名あり、夜遅くまでの語り合いの会では互いを知り、癒し合い、忌憚のない話をする事ができ、被害者自身の回復にとっても有意義な交流会となった。</p>	
	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。